



本庁舎ZEB化改修事業



「堺エネルギー地産地消プロジェクト」の推進

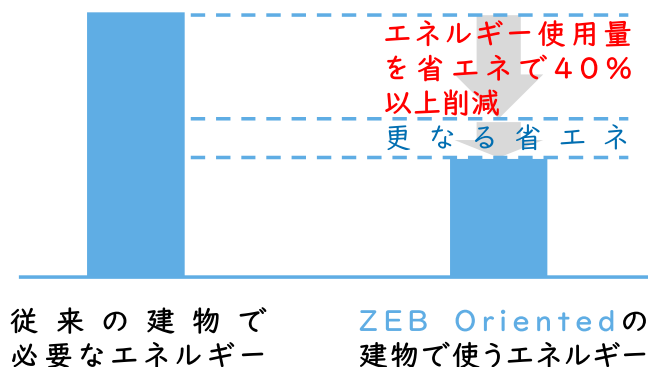
カーボンニュートラルの実現に向けた「堺エネルギー地産地消プロジェクト」の取組の一つとして、堺市役所本庁舎を「ZEB Oriented」に改修し、電気・ガス等のエネルギー使用量と温室効果ガス排出量の大幅な削減をめざします。

大規模な既存建築物の改修によるZEB化は難易度が高いとされており、本庁舎のZEB化が実現した場合、既存庁舎のZEB化として全国最大となります（2025年3月現在）。



ZEB Oriented (ゼブオリエンテッド)

事務所等で延床面積が10,000m²以上の建物



先進的な省エネ改修



「ZEB Oriented」への改修にあっては、民間事業者のノウハウを活用できるESCO事業によって、照明設備や空調熱源システム等の高効率化、BEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）の導入などの設備改修を行います。

皆様からいただいたご寄附は、これらの設備改修の費用として活用させていただきます。

温室効果ガス排出量 実質ゼロへ

「堺エネルギー地産地消プロジェクト」は、堺市の都心エリアと泉北ニュータウンエリア、オフサイトエリアにおける取組で、国から「脱炭素先行地域」に選定されています。

都心エリアでは、公共施設の省エネやソーラーパネルの設置を行い、泉北ニュータウンエリアでは、公共施設の省エネに加え、ゼロエネルギータウンの創出を行います。

オフサイトエリアでは、堺市内の物流倉庫や工場などの屋根にソーラーパネルを設置してもらい、都心エリアや泉北ニュータウンエリアの公共施設に再エネ電力を供給してもらいます。

これらの取組により、堺市役所本庁舎などの建物における電力消費に伴う温室効果ガス排出量を実質ゼロにします。

現在、2030年（令和12年）を目標に各取組を進めており、先進モデルとして全国へ波及すべく、積極的に発信する予定です。

